

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県)

- ①コールサイン : **JK1FNL**
- ②氏名(フリガナ) : **小林 直行** (コバヤシ ナオユキ)
- ③年齢 : **61歳**
- ④職業 : **自由業**
- ⑤無線従事者資格 : **第一級アマチュア無線技士 第一級陸上無線技術士 第一級海上無線通信士 航空無線通信士**

力を入れている無線活動

- **電子工作(機器の自作)** 最近作は、体験運用用マイク・ヘッドホン切替機、SO2Rインターフェースなど。
- **コンテスト参加** 6m & downにマルチオペマルチバンドのメンバーとして参加、2024-第1位、2025-第2位。
- **DX** 国内では小規模な設備で、CWとFT8を中心に運用。海外からは、6大陸37エンティティからの運用経験あり。
- **初心者・入門者へのサポート活動** 横須賀・逗子VEチームのメンバーとして、米アマチュア無線試験の試験官。湘南ビーチFMのアマチュア無線初心者向け音声番組に制作スタッフとして参加。テーマによっては出演も。
- **書籍、記事執筆** 著書、記事執筆多数。2025年は、米アマチュア無線試験問題の日本語訳本など6冊を自費出版。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- **「これからも自作を楽しむこと」に対して危機感を持つ立場から活動し貢献します。**
アマチュア無線の大きなメリットである「自作送信機を使用できること」が、これからも存続できるか危機感を持っています。1陸技、1海通を取得する過程で学んだアマチュア無線以外の無線関連法制度の知識も活かし、制度改正の働きかけ等に貢献できます。
- **コンテストを積極的に楽しんでいる立場を活かして貢献します。**
コンテストは、初心者や自作派にとっても、交信の機会が増えることもあり、アマチュア無線の活性化に効果的です。一方で、開催時間の割には、参加局数が少ないとも感じます。「電信と電話の両方を得点として認める」などで交信の機会を増やすなど、コンテストの活性化を提案していくことで貢献できます。
- **海外運用の経験を活かして貢献します。**
これまで、37エンティティからの運用経験があります。各国から運用許可や免許を得てきた過程で、世界のアマチュア無線制度に関する理解が進みました。よいところを我が国の制度にも取り入れられるように提言していくなど、経験を生かした貢献ができます。
- **初心者のサポート活動を活かして貢献します。**
アマチュア無線体験局の経験から、「アマチュア無線には魅力がない」のではなく、「知られていない」ことを痛感しました。若い世代だけでなく、年配者に対しても、「大人の知的な趣味」の側面を、大いにアピールする必要があると感じています。初心者向け音声番組制作の経験も活かし、アマチュア無線の裾野を広げる活動で貢献できます。
- **書籍、記事執筆の経験を活かして貢献します。**
これまでに、アマチュア無線関連書を多数商業出版しています。また、アマチュア無線専門誌だけでなく、インターネットやSFの専門誌も含め、約250本のアマチュア無線記事を執筆してきました。2025年は、アメリカのアマチュア無線試験問題の日本語訳を制作、自費出版しています。このように、アマチュア無線の楽しみを情報発信していく活動で貢献できます。
- **各種イベントに参加している経験を活かして貢献します。**
これまでに、アマチュア無線以外のさまざまなイベント(Interop、日本SF大会、コミケほか多数)にも、一般参加者、出展者、ときには講演者として参加してきました。それらの経験をもとに、アマチュア無線イベントに関する各種提案で貢献できます。これまでに、ハムフェアに関する社員総会での意見が、(もちろん、他の会員の意見も反映されてのことでしょうか)「ライトニングトーク(≒サテライトステージ)」、「ジャンルごとのブース配置」などで実現しています。
- **しがらみや村度のない公平な視点で貢献します。**
4年前に社員として選んでいただくまで、次世代通信委員会委員を例外として、JARLの活動に積極的に携っていませんでした。しかし、このことは、しがらみのない、「新しい視点でのJARLとアマチュア無線にとってプラスになる活動」につながるものと考えます。
たとえば、社員定数の不公平が長年放置されていることです。1エリアの正員だけ、「社員を選挙する権利」が、他エリアの正員の2/3しかないので。その背景には、長年のしがらみや村度があるように感じます。しかし、定款に反した状態が正常とは言えず、是正が必要です。
働きかけを続け、2025年の社員総会で、(内容は不十分なが)社員定数は正が議題となるところまでできました。引き続き、正常化に貢献していきます。

社員としての活動をWEBページでご紹介しています。



これまで、社員総会にあたっては、定款や規則等を読み込み、財務諸表の数字を確認し、議題の内容を検討し、アマチュア無線をより楽しむための提案をまとめ、準備書面を提出し、出席し、質問して、その結果を公開してきました。もちろん、これからもです！